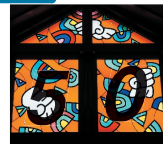


2005.7.10 司祭のてがみ No. 24

行橋カトリック教会・豊津巡回教会 主任司祭：ミカエル山元眞



聖堂の改装、ほぼ完成です。



聖堂の改装工事がほとんど終わりました。後は入口から入ったところに大きな内扉がつきます。横壁の出っ張った長い壁に直接に絵が描かれます。九十九さんがわざわざ帰国してくださり、20日(水)から2週間ほどかけて「聖霊降臨」の波動が描かれる予定です。さらに11月の記念日までには、後部の壁に「宇宙への派遣」(仮題)の絵が描かれるでしょう。後壁の絵は今回帰国されて構想を練るそうです。振り返ってみれば、この聖堂の改修は2年前に長椅子をいただいてから始まったように思います。パイプ椅子が木の長椅子に代わり、ゆっくりと落ち着いて祈りができるようになりました。子供用の椅子まで、そして侍者のためのベンチまでいただきました。あの時、私たちの心がとても温かくなったの

のを思い出します。あれから二年、たくさんの方々の奉仕と協力でここまでできました。今回の改装費用は皆さまが今まで蓄えてこられた種々の献金から出されます。また、特別にこの改修のために無名の方々から多くの献金をいただきました。ごいっしょにこのすばらしいお恵みを感謝したいと思います。



すみません、お金のことです。

私は新しく教会に赴任した時、いくつかのことを決意しますが、その中のひとつに…最初の3年間は「お金」のことは話すまい…というのがあります。なぜなら、お金（資金）ももちろん必要ですが、教会はまず、何よりも皆が集まること（体も心も）が大切だからです。みんなの思いが一つになることが大切だからです。ですから、まず、行うべきは…共同体づくり…です。信者であることの喜び、共に集い、交わる喜びを、まず感じていただきたいのです。ミサにともに集い、感謝と賛美をささげること。聖書に示されている「福音=よい便り=救いのメッセージ」をいただくこと。「ミサに参加してよかった!」「信者でよかった!」と皆が感じることもっとも大切なことではないでしょうか。このことが一番大切なことなのです。

行橋・豊津教会に赴任して4年目になりました。そろそろ「お金」の話をしなければなりません。ご理解とご協力をお願いします。

教会の諸活動は皆さまの維持費やミサ献金をはじめとする種々の献金によって行われます。その額や遣い道は毎年の信徒総会の際に報告されています。皆さまがお出しになる維持費や献金がどのように遣われているか関心をもたれ、ぜひ協力してください。

教会の規定では、何らかの収入を得ている方は、その収入の3%を基準として維持費を納めていただくことになっています。この時代にあって「3%」はずいぶんと「きつい」額ではないかと思います。いろんな事情で「3%」は出せなくても、少しでも結構ですので（ホントに10円でも100円でも結構です）、ぜひ維持費の封筒を利用して納めてくださいますようお願いいたします。そのようにすることで、教会の活動に参加してい

ただければ、と思います。「土地購入献金」や「50周年特別献金」など、教会から種々の献金が求められていますが、このような献金は、皆さまご自身のため、また、弱く、貧しい方々のために遣われるものです。どうぞ、少しでも参加してください。

「自由献金」で…。

行橋・豊津教会の私たちは、今、小教区創立50周年を歩んでいます。11月27日（日）には記念祭が予定されています。これを機会にまず聖堂の改装を行いました。この費用は今まで皆さまが蓄えてこられた種々の献金によってまかなわれます。また記念祭に必要な経費も皆さまからの献金が遣われます。このような諸経費について、私は一環した考えも持っています。費用の「割り当て」を決してしない、ということです。この件に関しては教会委員の皆さんをはじめ、信者の皆さんのご理解を得ることができました。

教会は神さまから呼ばれた人たちの集まりです。そこにはいろんな方がおられます。皆さん、一人ひとりのさまざまな状況はみな、違っています。そのようなことを配慮してのことです。また、種々の献金は「自由献金」のかたちで集められています。この方法もっともキリスト教的な方法だと思います。誰がいくら献金したかわからない…。神さまだけがすべてを知っておられる。だから、その神さまが直接に報いてくださいます。人からの報いや称賛ではなく…。

この2年間、たくさんの方々が隠れて奉仕や献金をしてくださっています。…だから、神さまがすでに、すばらしいお恵みをこの共同体にたくさん下さっています。お気づきでしょ？ いっしょに、いっしょに、たくさんの方々とすばらしい神さまに賛美と感謝をささげたいと思います。特に11月27日に！